

2022 インストラクターフォローアップ研修

令和4年12月18日 13:30~16:30（進行状況により17:00まで延長の可能性あり）

13:30~13:40 オリエンテーション

13:40~14:10 CVPPP 研修管理委員会からの報告とお願い : CVPPP 研修管理委員会

(1) インストラクター更新について

(2) 各種 CVPPP 研修について

インストラクター養成研修 トレーナー養成研修 ステップアップ研修

(3) Web でのインストラクター養成研修の推薦者について

14:10~14:15 休憩

14:15~15:15 CVPPP について講義 : 下里先生

15:15~15:20 休憩

15:20~16:30 シンポジウム : CVPPP 研修管理委員会

テーマ：身体的介入の基本を疑うーグループワークの中での気づきー

新しい研修方法になりグループワークでの受講者の気づきに重きを置かれるようになってきました。

グループワークを行う中で、これまでは身体的介入法の基本と思われてきたことも当事者の視点に立って考えると身体的介入の手技に受講者から懐疑的な意見が出てくるようになりました。

例えば、基本姿勢を一つとっても当事者の立場に立って考えると、「スタッフ3人が『助けに来ましたよ』とサイドウェイスタンスで来られて、逆に怖かった。助けてもらえるとは思えなかった」などという意見が出てきたことはないでしょうか？ 皆さんが行ってきたグループワークでそのような意見が出てきたときには、皆さんはどうされていますか？おそらく、「これは CVPPP の基本なので守ってください」とは言わないと思います。そのように言うことは CVPPP の理念ではないからだと思います。

そこで、今一度、当事者の視点に立って考え、身体的介入の基本を考え直してみませんか？ CVPPP トレーニングマニュアルにおいても「少なくとも当事者にとって少しでもよい方法があるのであれば常に見直されるべきである」と記載されているように、研修の中で当事者の立場になって受講者と一緒になって考えた時に出てきた意見を共有してみませんか？

今回のセッションでは、実際に研修のグループワークで受講者と一緒になって考えた時に出てきた意見をいくつかの施設に発表してもらい、その意見について深めていければと思います。